

主な内容

- ◎会長挨拶
- ◎五十周年記念式典のご案内
- ◎副会長挨拶
- ◎今年度スタッフ・学生幹部
- ◎青柳新監督就任挨拶
- ◎会計報告・予算計画
- ◎昨年度会費納入者一覧
- ◎編集後記

**発行**

大東文化大学ラグビー部OB会
OB会事務局本部

平成25年5月29日発行
埼玉県東松山市岩殿650-4
大東文化大学ラグビー部合宿所内
電話 0493-35-0412
編集責任 OB会事務局

会長挨拶**●はじめに**

OBの皆様には、全国各地でご活躍のことと推察しております。

皆様には、日頃から会費の納入、夏合宿等へのご支援等々ご尽力いただき、心よりお礼申し上げます。

さて、ラグビー部も本年度、創部50周年を迎えます。本年を節目の通過点として更なる発展を期す年にしたいと願っております。今年は、全試合観戦できるように頑張ります。

●50周年記念イベント

役員、有志の皆さん手作りの記念式典を用意しております。久方ぶりにOBの皆様が一堂に会して、縦と横の交流が出来、現役の平成25年シーズンの起爆剤になるのではないかと期待しております。沢山のOBの皆様のご参集をよろしく願いいたします。

加えて、母校も創立90周年のお祝いの年です。ダブルでのお祝いも記録と記憶の残る慶事であります。

●現役の指導陣が新体制に、旧指導陣に感謝

今年度より、指導陣が新体制となり、青柳勝彦新監督が指揮をとることとなりました。

鏡特別顧問も大学当局と現役をしっかりとグリップして、起爆剤になって頂けるものと期待しております。

前任の青木監督以下旧指導陣の皆様には、日夜に渡りご苦勞の連続であったと推察します。ご尽力頂いたことに心より感謝とお礼を申し上げます。

●OBの一致団結がキーワード

OB会は、OBの皆様と指導陣、大学当局、学生、保護者等関係者が共に支えあって、伝統ある大東文化大学ラグビーフットボール部を強豪チームであり続けるように支援していくために立ち上げたものであります。

現役を支えていくための、OB会費の納入と、更に、先輩・同輩・後輩への会費納入の働きかけを宜しく願い致します。

平成25年5月吉日

大東文化大学ラグビー部OB会
会長 高松宏惟(2期)

平成25年度の会費の御賛助をお願いいたします。

今年も諸兄には、会費と学生支援金の御賛助をお願いいたします。

会費は本年4月以降振込分が25年度会費ですのでお間違いの無いようにお願いします。

◇年会費の納入について**※ご注意**

振込に際しましては、氏名の前に卒業年度を西暦で入力下さい。

全会員の名簿と照らし合わせての入金確認のためご協力下さい。

年会費	一口5千円(出来れば二口以上の協力をお願いします。)
学生支援金	5千円(金額を問わず協力下さい。)
振込先	三井住友銀行 新宿西口支店 店番 259
預金種目	普通預金 口座番号 9586110
名義人	大東文化大学ラグビー部OB会

※会費への問い合わせ先（OB 会全般への問い合わせ窓口）

〒 227-0055 神奈川県横浜市青葉区つつじが丘 2-3-105

大東文化大学ラグビー部 OB 会

事務局長 小森 徹志 第 16 期

自宅電話 045-983-4808

自宅 PC アドレス cmckomori@juno.ocn.ne.jp

携 帯 090-4757-3718

勤 務 先 株式会社ターンオーバー

所 在 渋谷区千駄ヶ谷 1 丁目 3 番 24 号 新井ビル 302 号室

会社電話 03-6447-2955

会社 FAX 03-6447-2956

会社 PC アドレス yoyogikotobuki@feel.ocn.ne.jp

創部五十周年記念式典開催

昨年よりご案内の通り平成 25 年度は、創部五十周年記念式典を開催いたします。

この記念すべき年に我がラグビー部を三度の大学選手権覇者に導いてくださった鏡保幸元監督が、特別顧問（ゼネラルマネージャー）として復帰した事は、OB として大変歓迎すべき事で御座います。

また、新監督には 3 度目の選手権覇者のメンバーであり、三洋電機（現パナソニックワイルドナイツ）で選手・コーチとして活躍した青柳勝彦氏がフルタイムでの就任となりました。

今後を期待できる布陣での五十周年記念の年に下記の要項で記念式典開催と致しますので OB 全員で祝いそして現役激励にあたりたいと存じますので OB 諸兄におかれましては是非ともご参加賜りたくお願い申し上げます。

記

大東文化大学ラグビー部創部五十周年記念式典開催要項

- 1. 開催の目的** 創部五十周年を祝う OB 懇親の会
鏡保幸氏の復帰を祝う会
青柳勝彦新監督と現役学生を激励する会
- 2. 開催日時** 平成 25 年 8 月 31 日 土曜日
午後 2 時開宴 （午後 5 時閉宴予定）
- 3. 開催場所** 「紫雲閣」
所在 埼玉県東松山市箭弓町 2 丁目 5-14
電話 0493-23-5151
交通 東武東上線「東松山駅」から徒歩約 5 分
別添案内図参照
- 4. 会 費** 1 名金壱万円（ご家族での参加も歓迎致します。未成年無料）
- 5. 出 欠** 同封の返信用葉書で平成 25 年 6 月 20 日迄に御回答下さい。
尚、欠席通知を出されても直前に参加可能の時はご遠慮なく御出席下さい。
その際は実行委員への連絡を御願いたします。
- 6. 実行委員** 第 16 期 小森 徹志 (090-4757-3718)
第 21 期 並木 孝喜 (090-3214-3406)
第 27 期 木全 祐介 (090-4004-9706)
上記三名にご遠慮なくお問い合わせ下さい。
- 7. 宿 泊** 当日、または前日からの宿泊希望の方は当会場紫雲閣での宿泊が可能ですので返信用葉書の宿泊希望欄に御記入下さい。
一泊一名 6 千円を予定しています。
- 8. そ の 他** 当日または、翌日にグラウンドでの練習見学可能です。

副会長挨拶

OBの皆様にはお変わりなく、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃よりラグビー部に情熱を持ってご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、本年度は大東文化大学体育連合会ラグビーフットボール部、創部50周年です。私もラグビーボールを高校で初めて持ち、現在も持ち続けて50年が過ぎました。50年、時は変わってもOBの皆様の大学生活とラグビー部への思いは、校歌と学生歌（部歌）に綴られていると思われまふ。誰とどこで歌い、何を思っ歌ったか。

そして歌った仲間と結束し、大学の繁栄と共に強豪ラグビー部の継続を学生に祈願し、その活動をOB会が結束して、支援をいたしまししょう。50周年記念開催日には、多くの皆様にご参加をいただき校歌、学生歌の大合唱と現役学生のご活躍・OB皆様のご健康を祈念してご挨拶とさせていただきます。（私は、校歌、学生歌とも一番だけ歌いましたが、新に歌詞に感動いたしております）

*編集責任者注記 本学ラグビー部は、旧学生歌を部歌として代々歌っています。現在は新しい学生歌も作成されていますが、ラグビー部はこの旧学生歌を現在も部歌として歌っています。

平成25年5月吉日

大東文化大学ラグビー部OB会
副会長 古川 裕之（3期）

校歌

作詞 谷 鼎
作曲 信時 潔

一、流れはとほし 東洋の
故き鑑を 温ねては
知新の実を かさねむと
日夜にはげむ われらあり
心は放て 天地間
まなこはさらせ 世の移り
溷濁の浪 高くとも
棹さす水脈は まぎれなし
起ちて護らむ 大東文化
起ちて弘めむ 大東文化

二、あしたに思ふ 遠き道
ゆふべにみがく わが叡智
採長補短 ゆるぎなき
国のもとは誰が負ふ
ああ東洋の この文化
負ひいてささへむ 日本の
不滅の光り 揚ぐべき
若き力は ここにあり
起ちて護らむ 大東文化
起ちて弘めむ 大東文化

学生歌（旧学生歌）

作詞 児玉 花外
作曲 梁田 貞

一、丈夫死すとも楯となる
靖国神社を囲みつつ
万朶の桜咲くところ
大東文化の源泉に
明日百鍊の鉄をねる
意気こそ徹れ真心の
雪にそびゆる芙蓉峰

二、理想の月の照る清く
梧桐の高窓青年の
亜細亜に伸ぶる快手腕
世界を抱かん力あり
侠骨一片よしされば
誰に捧げん男の血
史上に残る美名かな

三、仁義を説きし先人の
徳の足跡したひつつ
勇み励みて武士道に
さきがけをせん荒き駒
雲の旗手に神州の
正気動かし若人の
団結をみよ九段坂

今年度スタッフ・学生幹部

平成 25 年度指導者名簿

	役 職	氏 名
1	部長	押 川 典 昭
2	副部長	牧 野 隼 人
3	監督	青 柳 勝 彦
4	コーチ	山 内 智 一
5	トレーナー	平 沼 大 輔
6	アドバイザー	ラトゥ ウィリアム 志南利 (旧姓 シナリ ラトゥ)
7	特別顧問 ゼネラルマネージャー	鏡 保 幸

学生幹部名簿

役 職	氏 名	学 年	出 身 校
主 将	高 橋 洋 丞	4 年	正智深谷
副 将	種 市 則 之	4 年	三本木農
副 将	梶 伊 織	4 年	御所実業
寮 長	藤 川 貴 之	4 年	三沢商業
副寮長	新 井 智 喜	4 年	樹徳
主 務	梶 本 嵩 顕	3 年	新田
副 務	西 本 崇 真	3 年	中標津
会 計	井 東 祐 介	4 年	大東一高
副会計	岡 田 健 人	3 年	佐野松陽

新監督挨拶 ～OBの皆様へ～

いつも現役への温かいご声援、深く感謝申し上げます。

本年度より大東文化大学ラグビー部の監督をさせて頂くことになりました青柳と申します。

昨年度までは、パナソニック ワイルドナイツラグビー部にてフィットネス&ストレングスコーチを6年させて頂いておりました。

社会人コーチ時代は、主に選手達の体づくりに携わり、相手に負けないフィジカルの強さ、80分間相手に走り勝つランニングフィットネスを指導しておりました。

今後は、この6年間の経験を活かし、基本の重要性を選手達に伝えて参ります。

本年度、大東大ラグビー部のスローガンは「復活」です。

選手達を国立競技場のグラウンドでプレーさせる事が今の目標です。

現在、山内コーチ、平沼トレーナーと3人で選手達としっかり向き合い、厳しくそして楽しくトレーニングを実施しております。

今選手達は、勝ちたいという思いで高橋キャプテンを中心にチーム一丸となり、日々頑張っております。その思いに答えられる様、全力でサポートして参る所存でございます。

OBの皆様には、大東復活に向け今シーズンも変わらぬご支援、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

平成 25 年 5 月 吉 日

大東文化大学ラグビー部
監督 青柳勝彦

本年度の会費賛助者は、随時大東文化大学ラグビー部公式ホームページ
OB会コーナーに掲載させていただきます。

大東文化大学ラグビー部公式ホームページ

アドレス：<http://www.daito-rfc.com/>

OB会コーナー

ログイン ID：daito-bunka

パスワード：obclub

平成 24 年度 大東文化大学ラグビー部 OB 会 会計報告

収支全体

《全体》

◆本年度の会費納入者全体は前年より減少しましたが大口納入者の増加や、懇親会時の寄付金がプラスとなり収入は予算を 102% 上回りました。

◆支出においては「活動方針」に基づき取組を進めましたが、50 周年イベントを次年度に移行し補助費の使用を抑え支出予算 55% での運営になりました。

<収入>

◆会費納入者 72 名（前年比 91.1% △7 名） 納入額 1,025,000 円（前年比 91.8%）。人数・金額は前年を下回る結果となりました。

◆大口会費納入者（2 万～15 万）は年長 OB を中心に 16 名と増加しました。一方若年層の未納者は多く、納入者の現状は毎年固定化された同一人での納入が中心となります。これは会費の活用方法や、納入メリットなど課題を残す結果となりました。

<支出>

◆慶弔費は大東一高の 50 周年記念へのお祝い、会報費では封筒の作成によりそれぞれ予算を上回りました。

◆補助費・OB 会強化費は 50 周年イベントを次年度へ移行するため極力使用を抑え予算を大幅に下回りました。

- 1) 24 年度会計報告（案） 平成 24 年度の会計につき、以下の内容をもって報告します。
 2) 50 周年準備引当金（案） 今年度補助費より 25 年度実施の 50 周年記念イベントに 50 万円を引き当てます。
 3) 剰余金処分（案） 24 年度剰余金を 25 年度会計に繰越します。

収入の部		支出の部	
科目	金額（円）	科目	金額（円）
繰越金	689,399	慶弔費	126,195
		会報費	278,810
会費納入（72 名）	1,025,000	補助費	524,000
		（25 年度へ引当）	500,000
寄付金	250,317	OB 会活動費	31,310
受取利子	298	手数料（5 件）	1,260
その他	68,568	寄付金	100,000
		小計	1,561,575
		残額	472,007
合計	2,033,582	合計	2,033,582

参考資料

《卒業年度別 会費納入》

卒業年度	人数	金額
1 期 41 年度	2 名	¥180,000
2 期 42 年度	1 名	¥50,000
3 期 43 年度	1 名	¥20,000
4 期 44 年度	3 名	¥45,000
5 期 45 年度	2 名	¥30,000
6 期 46 年度	4 名	¥40,000
7 期 47 年度	2 名	¥30,000
8 期 48 年度	4 名	¥45,000
10 期 50 年度	2 名	¥20,000
11 期 51 年度	3 名	¥30,000
12 期 52 年度	1 名	¥10,000
13 期 53 年度	5 名	¥65,000
14 期 54 年度	4 名	¥45,000
15 期 55 年度	1 名	¥20,000
16 期 56 年度	1 名	¥10,000
17 期 57 年度	1 名	¥10,000
18 期 58 年度	5 名	¥60,000
19 期 59 年度	1 名	¥10,000
20 期 60 年度	1 名	¥10,000
21 期 61 年度	6 名	¥60,000
22 期 62 年度	5 名	¥60,000
23 期 63 年度	3 名	¥30,000
24 期 平成元年度	5 名	¥55,000
25 期 2 年度	2 名	¥20,000
26 期 3 年度	1 名	¥10,000
27 期 4 年度	2 名	¥20,000
29 期 6 年度	1 名	¥10,000
32 期 9 年度	1 名	¥10,000
38 期 15 年度	1 名	¥10,000
43 期 20 年度	1 名	¥10,000
	72 名	¥1,025,000

《支出明細》

慶弔費	
内訳	支払い
14 期 饒平名 雅弘 御母堂様 葬儀	10,500
喜楽 開店お祝い	16,695
山崎ラグビー部長 御母堂様 葬儀	15,000
26 期 高橋 優 御尊父様 葬儀	13,000
大東一高 50 周年 記念式典	50,000
大東一高 50 周年 記念式典	21,000
	126,195

会報費	
内訳	支払い
OB 会報	75,440
郵税	45,840
封筒作成	72,030
はがき作成	40,000
郵税	45,500
	278,810

補助費	
内訳	支払い
現役支援金	500,000
懇親会	24,000
	524,000

活動強化費	
内訳	支払い
エーデルホテル手土産	9,240
小森事務局長立替分	22,070
	31,310

寄付金	
内訳	支払い
寄付金収入	-250,317
宇野将史君支援金	100,000
	-150,317

平成 25 年 5 月 12 日

会 長 高松 宏惟（2 期）

会 計 島田 治（21 期）

平成 25 年度 大東文化大学ラグビー部 OB 会 予 算

考 え 方

- ◆平成 25 年度の会計は、本年度活動方針に基づき、優先事項を明確に運営してまいります。
- ◆収入面においては、OB 会活動への理解を深めるとともに、適宜会報での納入依頼を行うなど安定した会費納入を促進してまいります。
- ◆支出面においては、現役支援を念頭に計画的・費用対効果を勘案し「収入に見合った活用」で健全な会計を行ってまいります。

25 年度予算（案） 平成 25 年度の予算につき、以下の内容をもって提案とする。

【収入】

- ① 繰越金 24 年度剰余金を、25 年度会計に繰越金として計上します。

繰越金 472,007 円 前年比 68.5%

- ② OB 会費納入 24 年度納入率を真摯に受け止め、更なる OB 会活動強化を行い参加意識を高めます。

予算 1,300,000 円 前年比 126.8%

【支出】

- ③ 慶弔費 慶弔時は未定。会則に基づいた運用を徹底し、前年同額を予算化します。

予算 100,000 円 前年比 79.2%

- ④ 会報費 会員の増加（新 OB）を勘案し、前々年同額を予算化します。
（総会報告、活動報告、総会告知 他）

予算 180,000 円 前年比 64.6%

- ⑤ 補助費 現役にモチベーション向上、監督スタッフ支援、リクルート活動支援を中心に、強化します。

予算 1,000,000 円 前年比 190.8%

- ⑥ OB 会活動費 全国 OB との交流、地域幹事の活動支援に伴い強化します。

予算 50,000 円 前年比 159.7%

収入の部		支出の部	
科 目	金額（円）	科 目	金額（円）
繰越金	472,007	慶弔費	100,000
		会報費	180,000
会費納入	1,300,000	補助費	1,300,000
		OB 会強化費	50,000
		その他	142,007
		小計	1,630,000
合 計	1,772,007	合 計	1,772,007

平成 25 年 5 月 12 日

会長 高松 宏惟（2 期）
会計 島田 治（21 期）

平成 24 年度会費納入者（敬称略）

No	期	卒業年度	氏名
1	1期	S 41年度 (1966)	寺沢俊治
2	1期	S 41年度 (1966)	古賀徹之
3	2期	S 42年度 (1967)	高松宏惟
4	3期	S 43年度 (1968)	古川裕之
5	3期	S 43年度 (1968)	齋藤裕司
6	4期	S 44年度 (1969)	渋谷邦彦
7	4期	S 44年度 (1969)	福山寛
8	4期	S 44年度 (1969)	福地稔之
9	4期	S 44年度 (1969)	渡辺仁
10	5期	S 45年度 (1970)	宮部茂富
11	5期	S 45年度 (1970)	栗田晴彦
12	6期	S 46年度 (1971)	吉羽茂
13	6期	S 46年度 (1971)	只野幸一
14	6期	S 46年度 (1971)	中村雄司
15	6期	S 46年度 (1971)	鏡保幸
16	7期	S 47年度 (1972)	宮澤重徳
17	7期	S 47年度 (1972)	小森雅睦
18	7期	S 47年度 (1972)	竹山輝明
19	8期	S 48年度 (1973)	仙道輝夫
20	8期	S 48年度 (1973)	河野武
21	8期	S 48年度 (1973)	倉持和夫
22	8期	S 48年度 (1973)	二俣昌司
23	10期	S 50年度 (1975)	菊地政光
24	10期	S 50年度 (1975)	山崎健司
25	11期	S 51年度 (1976)	青木修
26	11期	S 51年度 (1976)	対馬憲二
27	11期	S 51年度 (1976)	河内龍一
28	12期	S 52年度 (1977)	佐藤省吾
29	13期	S 53年度 (1978)	櫛引彰
30	13期	S 53年度 (1978)	北弘和
31	13期	S 53年度 (1978)	隅田敦司
32	13期	S 53年度 (1978)	梁建宏
33	13期	S 53年度 (1978)	梅田保則
34	13期	S 53年度 (1978)	須田稔
35	14期	S 54年度 (1979)	北田宣明
36	14期	S 54年度 (1979)	饒平名雅弘
37	14期	S 54年度 (1979)	川口輝彦
38	14期	S 54年度 (1979)	小原善浩
39	15期	S 55年度 (1980)	山田哲良
40	15期	S 55年度 (1980)	黒川不二男
41	16期	S 56年度 (1981)	小森徹志
42	17期	S 57年度 (1982)	一瀬一美
43	18期	S 58年度 (1983)	三野貴之
44	18期	S 58年度 (1983)	平山浩志
45	18期	S 58年度 (1983)	三原一樹

No	期	卒業年度	氏名
46	18期	S 58年度 (1983)	奥村敬一
47	18期	S 58年度 (1983)	藤本茂樹
48	19期	S 59年度 (1984)	丸本良之
49	20期	S 60年度 (1985)	中村勝次
50	21期	S 61年度 (1986)	島田治
51	21期	S 61年度 (1986)	高橋明彦
52	21期	S 61年度 (1986)	反町光一
53	21期	S 61年度 (1986)	大橋勝
54	21期	S 61年度 (1986)	並木孝喜
55	21期	S 61年度 (1986)	飯島均
56	22期	S 62年度 (1987)	黒澤誠
57	22期	S 62年度 (1987)	須藤智亜紀
58	22期	S 62年度 (1987)	矢嶋雅人
59	22期	S 62年度 (1987)	上野勇
60	22期	S 62年度 (1987)	須藤明
61	22期	S 62年度 (1987)	岡部慎司
62	23期	S 63年度 (1988)	須藤幸治
63	23期	S 63年度 (1988)	庄子進一
64	23期	S 63年度 (1988)	日下唯志
65	23期	S 63年度 (1988)	舛澤知己
66	24期	H元年度 (1989)	落合滋
67	24期	H元年度 (1989)	青木忍
68	24期	H元年度 (1989)	大村武
69	24期	H元年度 (1989)	戸野部晃典
70	24期	H元年度 (1989)	小島俊昭
71	24期	H元年度 (1989)	鈴木賢
72	25期	H 2年度 (1990)	原口幸弘
73	26期	H 3年度 (1991)	木田敏行
74	27期	H 4年度 (1992)	木全祐介
75	27期	H 4年度 (1992)	星野一郎
76	28期	H 5年度 (1993)	辻拓哉
77	29期	H 6年度 (1994)	酒井宏之
78	29期	H 6年度 (1994)	大谷悟
79	32期	H 9年度 (1997)	中島秀典
80	38期	H 15年度 (2003)	相亮太
81	43期	H 20年度 (2008)	上四元俊治
82	不明	不明は2012年5月18日振込人不明分	

その他

総会懇親会からの寄付金	総会参加者	5月19日開催時
懇親会二次会からの寄付	二次会参加者	
関西OB懇親会からの寄付	関西懇親会参加者	6月9日開催時
中大宇野将史君支援寄付	OB懇親会参加者	11月10日開催時
現役支援金		

編集後記

全国の大東文化大学ラグビー部 OB 諸兄におかれては、現役への温かいご声援と OB 会へのご協力を深く感謝申し上げます。

我が大東文化大学ラグビー部も、同好会として発足した 1963 年から 50 年の時を経過し五十周年を迎えました。

私が入部（入学）したのが昭和 53 年春…1978 年の事でした。

この前年度シーズンに二部陥落という衝撃があり当時の中野敏雄部長が監督兼務となった為、グラウンド・寮ともに学生主体の時代でした。当時の先輩方のリーダーシップは未だ忘れられません。

あのリーダーシップが無ければ学生だけで僅か 1 年での一部復帰は叶わなかったでしょう。

その後の躍進も厳しい道のりとなったと思います。

1979 年から鏡保幸先輩が当時の三洋電機に在職しながらコーチとして指導に携わっていただき、私が 4 年生となった 1981 年 4 月に三洋電機から本学職員へと転身しフルタイムでの監督に就任頂きました。私が卒業後のチームの躍進は皆さんご存じの事です。

この 10 年間ほど、確かに現役は低迷しました。

私自身、昨年までの 4 年間コーチスタッフとして関わり結果が出せなかった事は慚愧の極みです。

しかし、ラトゥ氏・青木氏、そしてこの期間のコーチは出来る事は精一杯やったと諸兄に申し上げます。

結果が出せなかったのはフルタイム指導者でないということが一番だと思います。

今年度より青柳勝彦新監督を迎え、また、鏡保幸氏が特別顧問（GM）として現場へ復帰することとなり青柳勝彦新監督・山内智一コーチ・平沼大輔トレーナーの 3 名は、フルタイムのスタッフとして現役の指導とサポートにあたってくれることとなりました。

新体制でも他校に比するとスタッフ数が少ないかもしれませんが、そんな中でもやっというところとする新体制には熱い声援とご支援を御願います。

青柳監督は、3 月 24 日の新体制スタートから寮に泊まり込むなど最大の意気込みで指導にあたっていただいています。

このフルタイムスタッフは、学生のみならず OB 諸兄も待ち望んだ体制です。

同時に鏡特別顧問は、過去三度の大学選手権覇者（監督）の実績を持つ大学職員として指導スタッフ・学生へのサポートに辣腕を奮っていただけると存じます。

本会報でもご案内の通り、8 月 31 日に創部五十周年記念式典を開催します。

他校のように大々的なものとは違う大東ペースのこぢんまりとした会を計画しています。

節目の年に新体制を激励し、皆で盛り上げていく会を考えています。

日々御多忙な諸兄と存じますが、この日だけは学生時代を思い出し先輩・同輩・後輩そして現役と共に時を過ごして頂きたいと存じます。

是非とも 8 月 31 日はご参加下さい。

末尾ながらこの 4 年間スタッフとしての私に激励をもって支えて頂いた諸兄、共に過ごしたスタッフ・学生に御礼を申し上げ編集後記の筆を置かせて頂きます。

平成 25 年 5 月吉日

大東文化大学ラグビー部 OB 会
事務局長 小 森 徹 志 (第 16 期)